和泉市立総合医療センター
IZUMI CITY GENERAL HOSPITAL
令和4年8月　No.179

地域連携センターだより

発行/和泉市立総合医療センター　地域連携センター（毎月1回発行）
電話/直通　0725-41-3150　代表　0725-41-1331
FAX/直通　0725-41-2513

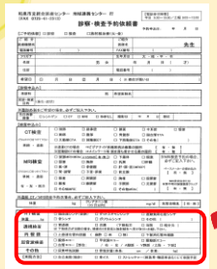
TOPIC　骨塩定量検査 の検査予約を承っております

診察・検査予約依頼書の□骨塩定量（身長：　cm / 体重：　kg）に☑し、身長と体重を記入後、FAXいただければ予約票を返信させていただきます。

検査時間は10分ほどで終わります！

検査日時：月～金曜日　9：00～16：00

お好きな時間に8番地域連携センターにお越しください。



RI検査 体重　kg	□ 脳血流シンチ（安静）　□ ダットスキャンシンチ　□ 運動負荷心筋シンチ □ 骨シンチ　□ ガリウムシンチ　□ その他　（　　）
透視検査	□ 胃透視　□ 注腸　（下剤処方　□ 当院　□ 紹介元　） ※ 下剤処方が当院の場合、検査の3日前迄に放射線科へ受け取りにお越し下さい。
内視鏡	□ 上部消化管内視鏡　（麻酔 □ 有　□ 無）　□ 下部消化管内視鏡
超音波検査	□ 腹部エコー　□ 甲状腺エコー　□ 頸動脈エコー □ 血管エコー【部位：　／右・左／A動脈・V静脈／上肢・下肢】
その他	□ 尿素呼気試験　□ 骨塩定量（身長：　cm　／体重：　kg）
【来院方法】	□ 自己来院（独歩）　□ 車イス　□ ストレッチャー（救急車・搬送車含む）にて来院予定

お知らせ

令和4年度 第3回 和泉市立総合医療センター クリニカルカンファレンスの開催

日　時：2022年9月22日（木）17：30～18：30

1. 『 抗PD-1抗体投与中に自己免疫性膵炎と糖尿病を発症した1例 』
   和泉市立総合医療センター　内分泌・糖尿病内科 部長　田中　陽一

2. 『 卵巣癌の薬物治療（主にPARP阻害細について） 』
   和泉市立総合医療センター　婦人科　松原　裕明

参加方法については別紙ご参照ください。

8月の休診・代診について

休診・代診については、ホームページ（休診案内）をご確認いただくか、地域連携センターまでお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

地域連携センター予約受付時間

和泉市立総合医療センター　地域連携センター
月～金曜日　**9：00～19：00**まで
土　曜　日　**9：00～13：00**まで
（但し祝日・年末年始の休日は除く）
TEL:**0725-41-3150**（直通）
FAX:**0725-41-2513**（直通）

～ 専門・認定看護師のご紹介 ～

皮膚・排泄ケア認定看護師
内堀　由加

大切にしていること
相談されたことに対して
必ず何らかの答えは返す

認定看護師を目指したきっかけ

人工肛門・尿路変更（ストーマ）手術をすると、その後の生涯に渡って、（一時的ストーマは一定期間）排泄の管理に装具が必要となります。患者さんは退院後の生活で、誰に聞いてよいのかわからないなど困っていることが多く、専門的知識を持って相談できる場所が必要だと思い目指しました。

お仕事紹介

専従の褥瘡管理者として横断的に活動を行っています。褥瘡やスキンテアなどの創傷、失禁関連皮膚炎（IAD）などの予防や治療について患者さん・ご家族やスタッフの相談、指導を行っています。また、ストーマ外来を月3回担当し、装具の選択や新しい装具の案内、日常生活についての相談対応を行っています。

医療関係者の皆様へ

ほんの小さなさかむけでも、傷ができてしまうと痛く気になるものです。療養中の辛い期間に、患者さんが褥瘡やスキンテア、IAD等のスキントラブルを起こすことなく過ごせるように努めていきたいと考えています。

小児科のご案内

平素は大変お世話になっております。

当院小児科では低身長の患者様に対する診療も行っています。3歳以降で身長が−2SD以下の患者様の中で成長曲線からの乖離がみられる患者様や低身長の度合いが強い患者様、ターゲットハイトとの乖離が強い患者様、SGA性低身長の患者様に対して入院にて成長ホルモン分泌負荷試験を行っています。2種類以上の負荷試験で成長ホルモン（GH）値の頂値が6ng/mL以下の患者様にはGH補充療法の適応がありますので、適応が取れた方にはGH補充療法を行っています。

成長ホルモン分泌不全性低身長の患者様ではGH補充により低身長の改善が期待されます。またSGA性低身長の患者様ではGH補充により低身長の改善、筋肉量が増え脂肪量が減るなど体組成の改善、IQやDQの改善が期待されます。

当院では現在ノボノルディスクファーマ社のフレックスプロが導入されていますが、現在JCR社のグロージェクターLの採用に向けて準備を進めているところです。フレックスプロは簡単な構造で管理がしやすいことが特徴であり、一方でグロージェクターLは機械式で自動で注射をすることで針が見えない構造になっており、患者様の恐怖心を和らげる工夫がなされています。これらの2剤はタイプの大きく異なる製品であり、今後は患者様に2剤から希望する薬剤を選択して頂けるようになる見込みです。2剤から患者様に選択頂くことでアドヒアランスの向上も期待されます。

皆様の医療機関を受診される患者様の中で年齢の割に小さいなと感じられる患者様はいらっしゃいませんでしょうか？またSGAであるもののキャッチアップされていない患者様はいらっしゃいませんでしょうか？そのような患者様で成長ホルモン治療にご興味のある方がいらっしゃいましたら是非ご紹介頂けますと幸いです。

末筆ながら、くれぐれもご体調をくずされませんようご自愛くださいませ。今後も当院小児科との病診連携にご協力をお願い申し上げます。

小児科 秦 直樹

和泉市立総合医療センター 小児科

秦 直樹 （はた なおき）

〈資格〉 ・日本小児科学会小児科専門医

診療実績

	外来患者数	入院患者数	救急車件数	夜間救急患者数	夜間救急からの入院数
2020年	10,297	344	303	1,071	51
2021年	12,158	349	320	1,551	102

2021年 入院実績

入院総数	紹介入院数	紹介%
349人	192人	55%

入院患者の主な疾患（人）			
肺炎・気管支炎	45（13%）	喘息	42（12%）
RSウイルス	73（21%）	川崎病	20（5.7%）
ヒトメタニューモウイルス	0（0%）	肥満教育入院	0（0%）
胃腸炎	16（4.6%）	食物負荷試験	13（3.7%）
マイコプラズマ	0（0%）	けいれん重責	27（7.7%）
インフルエンザ	0（0%）		

専門的な診療も行っています！

いずみ発達障害支援センター ※完全予約制です。

医師による面接、心理士による心理発達検査、カウンセリングを行っています。

肥満外来

学童検診で受診を勧められた児を中心に、行動療法（医師による動機づけ接）栄養指導などを組み合わせた治療を提供しています。2020年1月に当院小児科は日本肥満学会認定肥満症専門病院に認定されました。

ファブリー病、ムコ多糖症など先天代謝異常症

酵素療法（土曜日含む）も対応可能で、診断から治療まで専門性の高い医療を提供しています。

アレルギー疾患

喘息の管理以外にも、アレルギー性鼻炎（ダニ・スギ）に対する舌下免疫療法、食物アレルギーの経口負荷試験に対応が可能です。

夜尿症専門外来も行っています。

従来通りの新生児から中学3年生までの小児の一般的な治療から専門的診療まで幅広く対応していきます。 地域連携に重点を置き、地域の先生方のニーズに沿った診療を提供していきます。精査目的の紹介でも、小児の疾患に関しては幅広く受け入れいたしますので気兼ねなくご相談ください！

和泉市内の小学校から講演依頼を承っています

和泉市内の小学校より依頼をいただき、『食物アレルギー、エピペンに関する講習会』、『医療現場からみた子どもたちの食生活の現状と課題～肥満児指導について～』の講演会を、2021年度は計6校、2022年は4月～6月で計5校、小学校に訪問し開催いたしました。コロナ禍で訪問が難しい場合はZOOMを使ってオンラインで行いました。参加していただいた教職員の方からは、『医療に携わる方から詳しい話が聞けてよかった。』等のお声をいただきました。教育現場と医療がより一層、連携が図れるよう尽力していきます。